

栃木市長 大川 秀子 様

大平地域会議
会長 藤野 晴彦

令和5年度実施分
栃木市地域予算事業計画書

栃木市地域づくり推進条例第5条及び栃木市地域予算提案制度実施要領第5の規定により、下記のとおり地域の課題の解決及び地域活性化のための事業計画を提出しますので、事業実施に必要な財政的措置を講じられますようお願いいたします。

記

【事業総括表】

番号	事業名	事業費（千円）	担当部課
1	大平地域交通事故防止対策事業	363	交通防犯課
2	かかしの里活性化事業	4,944	観光振興課
3	大平地域例幣使街道エリア 歴史観光案内看板設置事業	928	観光振興課
計		6,235	
提案限度額		6,235	

(添付資料)

- ・ 事業概要書
- ・ 予算見積書

事業概要書

事業番号

1

地域会議名	大平	地域会議	実施年度	令和5年度		
事業名	大平地域交通事故防止対策事業		分類	新規	継続	
地域課題	<p>大平地域の交通安全活動は、地区交通安全協会や家庭、自治会、学校、警察などの連携により啓発等を実施しているが、依然として高齢者や子どもたちが関係する交通事故の発生は続いている。</p> <p>そのため、高齢者や自転車による事故の防止、交通安全の意識を向上させるため、更なる啓発が必要であると考えられている。</p>					
課題の選定理由	<p>大平地域の中学生と交通事故発生件数が多い高齢者を対象として、交通事故の恐ろしさを実感できるスケアードストレート方式による交通安全教室を実施することで、交通安全の意識向上と交通事故の防止・減少が期待できるため。</p>					
事業概要	目的	市民の交通安全意識の向上				
	内容	通学等で自転車に乗る機会が多い中学生を対象に、スケアードストレート方式による交通安全教室を実施する。				
	実施期間	平成28年度～令和5年度				
	担当部署	生活環境	部	交通防犯	講室	交通防犯 係
	役割分担	【行政】 交通安全教室の開催及び周知		【地域】 交通安全教室への参加		
行政関与の妥当性	【担当部署意見】					
	事故防止の意識向上に効果的であり、妥当と考えられる。					
事業評価	成果見込み	市民の交通安全意識の向上が図れる。				
	今後の取組み	大平地域の高齢者や中学生を対象として継続的に開催を検討。				
年度別事業費 (千円)	年度	R3	R4	R5	総計	
	事業費	363	363	363	1,089	
	維持管理費	0	0	0	0	
	合計	363	363	363	1,089	

事業概要書

事業番号

2

地域会議名	大平	地域会議	実施年度	令和5年度		
事業名	かかし里活性化事業		分類	新規	継続	
地域課題	「かかしの里」は地域の憩いの場や観光拠点、地域づくりの拠点として利用されているが施設の老朽化が進んでいる。 そのため、来場者の利便性向上や地域活性化の拠点として利用の促進を図るために、施設の修繕などを行なう必要がある。					
課題の選定理由	「かかしの里」の施設は、自然豊かな環境の中でバーベキューやローラースライダーなどの遊具で遊ぶことのできる憩いの場として利用され、また、地域のイベント会場やNPO、まちづくり実働組織の地域づくりの活動拠点としても利用されている施設である。 今後も、地域の拠点施設として利活用を促進するため、老朽化した施設の修繕や遊具等の更新を行い、利用者の安全性と利便性を確保する必要がある。					
事業概要	目的	かかしの里の施設修繕を行うことにより、地域づくり拠点としての活性化を図る。				
	内容	老朽化して安全に使用することが困難となってしまっている木製遊具を撤去して、子ども達が安全に利用できる複合遊具を設置する。 同じく、経年劣化により大きく反ってしまったバーベキュー施設のグリルプレートとガスコンロを新しいものに更新する。				
	実施期間	令和5年度				
	担当部署	産業振興	部	観光振興	課室	観光企画 係
	役割分担	【行政】 劣化した遊具の撤去と複合遊具の設置 バーベキュー用グリルプレート等の更新			【地域】 施設の有効活用 施設のPR	
行政関与の妥当性	【担当部署意見】 施設の木製遊具の撤去と複合遊具の設置により、子ども連れ施設利用者の増加と安全な利用環境を整備することが出来る。 また、バーベキュー施設の器具の更新等を行うことにより、安全で快適な施設利用を図ることができる。					
事業評価	成果見込み	施設内遊具とバーベキュー施設の器具の更新により、施設の再活性化が図られ、利用者の増加が期待できる。				
	今後の取組み	施設内遊具及びバーベキュー施設の器具の適正な維持管理をしつつ、快適な施設利用環境の提供に努め、利用者の増加を図る。				
年度別事業費 (千円)	年度	R3	R4	R5	総計	
	事業費	5,886	0	4,944	10,830	
	維持管理費	0	0	0	0	
	合計	5,886	0	4,944	10,830	

事業概要書

事業番号

3

地域会議名		大平 地域会議		実施年度		令和5年度		
事業名		大平地域例幣使街道エリア 歴史観光案内看板設置事業		分類		新規 継続		
地域課題		歴史を辿ると、大平町富田には例幣使街道「富田宿」があり、今でもその名残を見ることができるが、時代と共に少しずつ街並みも変化し、例幣使街道を案内する看板も無い。来訪者や地域に住む人にも例幣使街道と富田宿の歴史と街並みを分かり易く伝え継承していくため、例幣使街道エリアに案内看板の設置が必要である。						
課題の選定理由		富田宿を中心とした例幣使街道エリアの歴史、伝統、文化等の継承は、その土地の者が語り継いでいかないと途切れてしまう。 地域住民が、身近な地域の歴史的事象に興味をもつことにより、地域住民としての意識を高めるとともに、地域に誇りと愛着を持って大切にしたい気持ちを持ち次世代に繋げたい。 また、大平地域を訪れた人達に大平の歴史と文化に触れ楽しんでもらいたい。						
事業概要	目的	富田宿を中心とした例幣使街道エリアの歴史、伝統、文化等の継承と観光案内の強化						
	内容	富田宿の本陣跡、北木戸跡に例幣使街道富田宿の歴史的絵図等を表示した案内看板を設置する。						
	実施期間	令和5年度						
	担当部署	産業振興	部	観光振興	課室	観光企画	係	
	役割分担	【行政】 例幣使街道富田宿への歴史案内看板の設置			【地域】 例幣使街道の歴史の再発見と継承 例幣使街道散策イベント等の企画			
行政関与の妥当性		【担当部署意見】 例幣使街道富田宿に歴史案内看板を設置することは、地域住民と来訪者に、その歴史に触れていただき、地域の歴史と伝統文化を守り継承するための手段として有効であると考えます。						
事業評価	成果見込み	富田宿を中心とした例幣使街道エリアの歴史、伝統、文化等の継承と観光案内の強化が期待できる。						
	今後の取組み	富田宿を中心とした例幣使街道エリアの歴史、伝統、文化等の継承と観光に係る取組を支援するとともに、案内看板等の適正管理を行う。						
年度別事業費 (千円)	年度	R3		R4		R5		総計
	事業費	0		0		928		928
	維持管理費	0		0		0		0
	合計	0		0		928		928

予算見積書

事業番号	3
------	---

地域会議名	大平 地域会議				
事業名	大平地域例幣使街道エリア歴史観光案内看板設置事業				
本年度予算額(千円)①	前年度予算額(千円)②	比較 ① - ②		分類	
928千円	0千円	928千円		新規・継続	
事業概要	富田宿の本陣跡、北木戸跡に例幣使街道富田宿の歴史的絵図等を表示した案内看板を設置する。				
節・細節	本年度(千円)	前年度(千円)	比較	説明/積算式	金額(千円)
13 使用料及び賃借料	3	0	3		
使用料及び賃借料	3	0	3	例幣使街道富田宿画像使用料	
				1,000円×2枚×1.1=2,200円	3
14 工事請負費	925	0	925		
工事請負費	925	0	925	例幣使街道富田宿歴史案内看板設置	
				420,400×2×1.1=924,880円	925
計	928	0	928		